

学校法人 兵庫医科大学

広報

 兵庫医科大学  兵庫医療大学

vol. **229**
2015年新年号



新年の挨拶、主任教授就任挨拶
篤志解剖体慰霊祭、平成27年度入試速報
醫聖祭、海梟祭、ホームカミングデー
入試対策講座、神戸マラソン、3大学合同FD
臓器移植対策推進功労者受賞、市民ふれあい教室
地域医療に関する同窓生懇話会、紅葉ドライブ
認定看護師教育課程入学式、津波避難訓練

- 01 最近の主な出来事
03 平成27年 年頭の言葉 新家理事長
05 平成27年 年頭の言葉 波田副理事長
06 平成27年 年頭の言葉 太城副理事長

■兵庫医科大学

- 07 平成27年新年のあいさつ 中西学長
輸血・細胞治療学開講/CPC開設記念講演会
08 内科学総合診療科 主任教授就任挨拶
救急・災害医学 教授就任
篤志解剖体慰霊祭
09 醫聖祭(大学祭)
11 平成27年度 入学試験速報
12 研究助成金等の交付状況
学位授与
13 研究REPORT
外科学上部消化管外科 笹子三津留 主任教授

■兵庫医療大学

- 14 平成27年新年のあいさつ 馬場学長
薬学部 教授就任挨拶
保護者懇談会
15 海皇祭(大学祭)
17 ホームカミングデイ・同窓会役員会・同窓会懇親会
神戸マラソン
18 平成27年度 入学試験速報
19 平成27年度 大学院入学試験
入試対策講座&大学見学会
薬学部 東 純一教授 大学葬
20 研究REPORT 共通教育センター 西田 喜平次 講師

■兵庫医科大学病院

- 21 平成27年新年のあいさつ 難波病院長
熱傷センター長就任挨拶
22 臓器移植対策推進功労者賞受賞
禁煙ラウンド
23 3大学合同FD講演会
消防訓練
フロンティア医療セミナー

■ささやま医療センター/
ささやま老人保健施設

- 24 ささやま医療センター事務組織の再編・強化
JR西日本主催 列車事故お客様救済合同訓練
25 市民ふれあい健康教室開催
紅葉ドライブ
26 地域医療に関する同窓生懇話会
家庭医療セミナーin篠山

■学校法人兵庫医科大学

- 27 特別寄稿 大江与喜子先生
認定看護師教育課程(手術看護分野)入学式
28 津波避難訓練
規程等の制定・改正・廃止
29 学校法人兵庫医科大学基金 兵医・萌えの会 状況報告
兵庫医科大学開学40周年記念事業募金 状況報告
30 人事情報
31 報道機関への出演・掲載
32 1~4月の行事予定

最近の主な

出来事

10月	October
1	■学校法人兵庫医科大学 認定看護師教育課程 入学式 →P27
2	■兵庫医療大学 平成26年度 兵庫医療大学 第1回学術講演会 『大地の動きから探る南海トラフ巨大地震』 →P2
3	■兵庫医科大学 大学院前期入学試験合格発表 →P11
4	■兵庫医療大学 保護者懇談会 →P14
8	■兵庫医科大学 大学院入学試験合格発表 (薬学研究科・看護学研究科・医療科学研究科) →P19
9	■兵庫医科大学病院 第25回フロンティア医療セミナー →P23
12	■兵庫医療大学 ホームカミングデイ・同窓会 懇親会 →P17
	■兵庫医療大学 海皇祭(大学祭) →P15
15	■ささやま老人保健施設 紅葉ドライブ →P25
17	■兵庫医科大学病院 「地方と都会の大学連携 ライフイノベーション」3大学合同FD →P23
21	■学校法人兵庫医科大学 津波避難訓練 →P28
	■兵庫医科大学 篤志解剖体慰霊祭 →P8
22	■兵庫医科大学 消防訓練
28	■兵庫医科大学 平成26年度第5回 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン大学院博士課程研究成果中間報告会 →P2
	■ささやま老人保健施設 紅葉ドライブ →P25
29	■兵庫医科大学 平成26年度第1回兵庫医科大学 医学会学術講演会 →P2

11月	November
1	■兵庫医療大学 推薦入学試験(専願公募制) →P18
2	■兵庫医療大学 推薦入学試験(公募制A日程)
4	■ささやま医療センター 市民ふれあい健康教室 →P25
5	■ささやま老人保健施設 紅葉ドライブ →P25
7	■兵庫医科大学病院 医療監視
8	■ささやま医療センター 地域医療に関する同窓生懇話会 →P26
9	■兵庫医科大学 推薦入学試験 (一般公募制・地域指定制) →P11
10	■ささやま医療センター JR西日本主催列車事故お客様救済合同訓練 →P24
11	■兵庫医療大学 推薦入学試験 (専願公募制・公募制A日程)合格発表 →P18
12	■兵庫医科大学病院 第26回フロンティア医療セミナー →P23
15	■兵庫医科大学 推薦入学試験 (一般公募制・地域指定制)合格発表 →P11
15-16	■兵庫医科大学 第43回醫聖祭(大学祭) →P9
16	■兵庫医療大学 入試対策講座&大学見学会 →P19
17	■兵庫医療大学 仕事研究セミナー →P2
	■学校法人兵庫医科大学 自衛消防訓練(総合訓練) →P23
19	■学校法人兵庫医科大学 知的財産セミナー
	■兵庫医科大学病院 市民健康講座「大腸癌検診を受けよう!」
29	■兵庫医科大学 輸血・細胞治療学開講/セルプロセスィングセンター開設記念講演会 →P7
	■兵庫医療大学 推薦入学試験(公募制B日程) →P18



10/2

■兵庫医科大学

平成26年度 第1回学術講演会
『大地の動きから探る南海トラフ巨大地震』

平成26年兵庫医科大学 第1回 学術講演会『大地の動きから探る 南海トラフ巨大地震』がオクタホールにて開催され、一般の方をはじめ学生や教職員など、多くの方が聴講しました。講師に京都大学防災研究所の西村卓也先生をお迎えし、どのようにして地震が発生するのかというお話から、南海トラフ巨大地震の予知・予測や被害想定、そして地震への備えについて、分かりやすく解説していただきました。南海トラフ巨大地震の影響が懸念される本学では、今後も防災意識を高める取り組みを行っていきます。



10/29

■兵庫医科大学

平成26年度第1回
兵庫医科大学医学会学術講演会

9号館5階 9-1 講義室にて平成26年度第1回兵庫医科大学医学会学術講演会が開催されました。耳鼻咽喉科学 三代 康雄教授より「小児に対する聴力改善手術」について、泌尿器科学 野島 道生教授より「兵庫医科大学における腎移植300例の報告」について、脳神経外科学 吉村 純一主任教授より「脳動脈瘤治療の今」について講演いただきました。また、「外科治療最前線」をテーマとし、歯科口腔外科学 岸本 裕充主任教授司会のもと、パネルディスカッションが行われ、活発な意見交換が行われました。



10/28

■兵庫医科大学

平成26年度第5回
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
大学院博士課程研究成果中間報告会

「がんプロフェッショナル養成プラン」は、文部科学省が質の高いがん専門医等を養成し得る内容を有する優れたプログラムに対し財政支援を行い、今後のがん医療を担う医療人の養成推進を図ることを目的としたもので、本学は近畿圏7大学が共同して推進している「7大学連携先端がん教育基盤創造プラン」に参画しています。平成26年度第5回がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン大学院博士課程研究成果中間報告会が9号館5階9-2 講義室にて開催され、内科学 呼吸器・RCU科の中野孝司主任教授の司会のもと、各養成コースの学生が研究成果について発表し、質疑応答が行われるなど盛会の内に終了しました。



11/17

■兵庫医療大学

仕事研究セミナー「私の仕事」

選手を守る～スポーツ現場にいる理学療法士の実際の仕事～

トヨタ自動車(株)硬式野球部でトレーナーとして働く理学療法士の佐藤佑介さんを講師にお招きし、スポーツ現場で働く面白さや難しさ、自身が体験したエピソードなどをお話いただきました。講演の中では「自分から行動したことで、多くの人との出会いがあり、それが今の仕事に就くきっかけとなった。皆さんには失敗を恐れず、何事にも積極的にチャレンジしてほしい」と経験を踏まえたアドバイスもあり、将来スポーツの現場で働きたい学生にとって、佐藤さんがこれまで積んできたキャリアは良い目標になったのではないのでしょうか。



平成27年 年頭の言葉

「唯一生き残るのは変化する者である。」ダーウィンの進化論より 理事長 新家 莊平

明けましておめでとうございます。平成27年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

御存知、今年の干支は羊。人間の本性に係る善、義、美の漢字はみな羊に拠っており、本学にとってもこの一年は文字通り奥行の深い佳き年になるように思えてなりません。

さて、現在、わが国の大学は急速な少子化と競争の激化、更には教育・研究の国際化や質保証等の新しい課題にも直面し、生き残りがかかるともいえる厳しい試練に晒されていますが、そのような状況の中で聞こえてくるのは、やはり、ダーウィンの進化論。

「最も強い者が生き残れるのではなく、最も賢いものが生き延びるのでもない。唯一生き残るのは変化する者である」と。

これらに関して、国側も昨年、学校教育法を一部改正し、古い「民主主義幻想」に惑わされることのない学校法人のリーダーシップの確立を軸としたガバナンス改革という大きな風穴を教育行政の中に開けてくれましたが、今後は、この新しく吹く風によって大学改革に拍車がかかることになるでしょう。

そのような変革の風潮の中、3年前に開学40周年を終え、兄弟校兵庫医療大学とともにユニークな医療総合大学として確固とした地位を固めてきた本学も、更なる発展を求めて一昨年に始まった第2次中期事業計画に沿った多角的な新しい事業展開を加速しはじめたところです。

まず、施設面では、西宮キャンパスの6・7号館跡地への12階建て「新教育研究棟」の建設と、当敷地の西側に建つ人間ドックを標榜する「健康医学クリニック」の開設があ

げられます。これらは一昨年開館した「急性医療総合センター」とともに、最終的には1号館の本院再建に至る長丁場の西宮キャンパスグランドデザインの最初の一里塚でもあります。

他方、教育面では、中西学長の意向のもと、他学との差別化をもたらし本学独自の特色として、哲学・倫理教育や人格形成に力点を置くとともに、高度専門化した医療の統合に必須とされるチーム医療教育を徹底していくことになりました。また、卒前、卒後の教育・研修や生涯学習の各分野についての国際的基準による質的保証を通じて、教育・研究・診療三位一体の異なる進化を図っていくことになりました。

研究面でも新しく学術研究支援組織を構築して、基礎医学研究のみならず、治験も含めた臨床研究の推進を効率よく図り、かねてから高く評価されている本学の研究レベルを更に向上させることになりました。昨年、学内に開設された輸血・細胞治療学講座やセルプロセッシングセンターは、その未来図の一端を如実に示していると申せましょう。

臨床面では、本院に全国レベルの高いブランド力を導いてきた太城前病院長が、この度、ささやま医療センター病院長兼務の病院事業管理者として、本院とささやま医療センターの両院を統括する任に当たることになりましたが、その後任の難波新病院長は、これまでの運営方針を継承しつつも、新企画を次々に打ち出し、診療各科の経営分析に基づく病院機能の活性化、がん診療の充実や重症度の高い手術件数の増加を重要課題として、大学病院としての特性に基づいた改革・改

善に全力を注いでいただいています。

これまで、地域医療に大きく貢献しながら経営面では長期低迷を続けてきたささやま医療センターも、昨年、病院機能評価の認定を受けることが出来ました。さらに又、太城病院事業管理者と福田前病院長の協同采配のもと、中西学長を始めとする本院側の協力とセンター全教職員の意識改革が相俟って、西宮キャンパスとの一体化が進み、昨年の下期頃からは漸く前途に明るい光が見えるようになって来ました。

兄弟校兵庫医療大学では、かねてから自学の独自性を志向している馬場学長の指揮のもと、先見性に富んだ改革改善が着実に進み、チーム医療重視の教育を目指す医療総合大学としての特質がより鮮明になってきました。東洋医薬部門の設置やオーストラリアのアデレード大学看護学部との協定締結は、その表れの一つとも言えるでしょう。

本法人内の両大学と北京中医薬大学の3校連携のもとで開設された孔子学院も、西洋医学と東洋医学の融合を旗頭にして、世界中でもほとんど例をみない医学教育・研究機関としてその存在感を次第に高めてきました。

その他、法人全体にまたがる課題として、全教職員を対象とした未来志向の人材育成や男女共同参画があげられますが、それらを支援していく新しい組織も設置され、これまでにない方法論を駆使した新しい取り組みが始まっています。

この様に、現在本学は「不易流行」の言葉通り、不易の建学の理念を堅持しつつも、そこに時代に、即した変革の流行を織り込み、順調な発展を続けていますが、今後10年20

年30年にわたる閾値の高い近未来構想を可能にする財政基盤が十分に安定しているとは言い難く、これまでの「変化そして進化」という勢いのある流れを継続していくためには、法人全体の経営基盤の健全化を、天からの至上命令として受け止め、それを全うしていかなばなりません。

このために、本学は、かねてから全学をあげての英知を集結し、様々な善処策を図って参りました。法人の予算の7割を占める病院収支の安定化、人件費の適正化、諸経費の削減や適正な資源の配分、物流改革等に焦点を合わせて血の出るような自助努力を重ねて参りました。全教職員、同窓会、後援会や関連企業等学内外への募金活動も積極的に推進して参りました。しかし、これらの労が功を奏することによって、本学が永年にわたって育て上げてきた優れた医育機関としての評価を、更に高めることが出来るような新しい環境づくりを果たしていくという夢は、まだ遠い山の彼方にあります。

したがって、現在の本学としては、兵庫医大丸のマストに高く揚げたZ旗のもと、進取の気象を存分に奮い立たせて、ただひたすらに前進するばかりですが、本学関係者の皆様にはこの志を汲んで頂き、声高の応援歌を響かせて頂くようお願い申し上げる次第であります。

以上、年詞に凡そ相応しくない辛口の結びとなりましたが、虚子の句“去年今年貫く棒のごときもの”の言葉通り、本学の環境整備に必須の財政基盤の確立という固い棒のようなものが、この羊年を貫いてくれることを念じて、年の始めのご挨拶といたします。



平成27年 年頭の言葉

医師不足への対応と今後

副理事長 波田 壽一

皆様明けましておめでとうございます。今年一年が皆様にとって幸多い良い年になることを祈念致しております。

戦後の医学部の定員は昭和57年にピークの8,280名となり、数が増えすぎることが懸念され始めて、昭和61年から医学部定員が10%削減されることとなりますが、実際には公立大学の抵抗があって7.7%の削減に留まっています。それでも昭和57年から徐々に定員が減少して平成15年には7,625名まで減少し、平成19年まではそのままの数で推移してきました。平成16年から新医師臨床研修制度が導入され、これを契機に医師不足が顕在化しました。それに対して平成18年から現在まで各種の対策(主として医学部の定員増に関するもの)がなされ、平成26年度の定員は9,069名になり、更に平成27年度は65名増えて定員総数は9,134名になると報道されています。この数は平成19年の定員から1,509名増えたことになり、定員100名の医科大学を新たに15校作ったことに匹敵し、平成31年まで続くことになっています。また、来年には東北薬科大学に医学部を新たに設置することが決まっています。

一方今後の患者さんの動態は、入院患者は次第に増加し平成42年前後にピークを迎え、その後減少し、外来患者は平成32年前後にピークとなり、以後減少する、と推定されています。これは高齢者増加による医療需要の増大を意味し、しかも継続的ではないので、医療体制の整備には修正可能な柔軟性が求められています。

では今後日本の医師数はどうなっていくのでしょうか？

平成22年に厚労省が行った「必要医師数実態調査」では現在および将来にわたって人口10万人当たりの必要医師数は253.1人という数が出ており、この数は平成22年の予測でも平成28年には達成されることとなります。またOECDの平均医師数には同じく平成22年の試算でも平成37年に達し、以後右肩上がりに増加することが予測されています。今行われている緊急医師確保対策は平成31年には終わりますが、平成32年から定員増をする前の定員に戻しても、また全医科大学の定員を1大学50名にしても、OECDの平均医師数を超えて推移することが試算されており、医科大学(医学部)の定員を修正可能な柔軟性を持たせて決めることができるかどうかが問われています。



平成27年 年頭の言葉

地域に貢献し、地域から信頼され、そして働きがいのある病院に向けて

副理事長・ささやま医療センター病院長 太城 力良

新年明けましておめでとうございます。皆様方にとって本年も良き年でありますよう祈っております。

平成26年3月に兵庫医科大学病院長の任期を満了し、同年4月からは副理事長、病院事業管理者を拝命しました。そして、福田能啓先生の後を引き継いで、11月よりささやま医療センター病院長を併任しています。ささやま医療センターのビジョンは「地域に貢献し、地域から信頼され、そして働きがいのある病院」です。このビジョン達成のために、バランススコアカードにより顧客の視点、医療の質の視点、学習成長の視点、そして財務の視点よりささやま医療センター教職員によってまとめられた戦略・戦術に従って運営していきたいと考えています。

新病院長として心掛けていますのは、今までの経験を活かして西宮本院との関係をさらに深めることにより、丹波・篠山地域に必要な急性期医療を充実させることです。また、回復期、療養期病床や在宅患者さんへの外来診療を通じた地域包括ケアを念頭に置いた医療を実現し、さらに地域に貢献し、地域の皆様から信頼される病院にすることです。そのために、超急性期の重篤な疾病で対応が困難な場合は、早めに西宮本院への搬送を行い、病状が落ち着けばささやま医療センターの入院で経過観察し、同じ敷地内にある本法人が運営するささやま老人保健施設、居宅介護支援事業所や、院内リハビリテーションセンターと密なチーム連携を行います。そして、在宅、社会復帰していただけるように、近隣の

病院や地域の訪問看護ステーションとの連携も密にしたいと思います。元気な時はご自宅で、ご体調が悪くなれば入院や老人保健施設の利用を円滑に行い、地域で愛される病院になれるよう邁進していきたいと考えています。

兵庫医科大学ささやま医療センターは兵庫医科大学に在籍する医学生や臨床研修中の若手医師の教育病院として、さらに看護師、助産師、理学療法士、作業療法士などのメディカルスタッフの研修にも大きな役割を担っています。特定機能病院である西宮本院では専門分化した高度急性期医療を中心に行っていますが、総合的に一人の人間として患者さんを診る全人医療は、役割分担した各診療科の医師やメディカルスタッフのチーム医療で行わざるを得ません。ささやま医療センターでは、将来の家庭医や総合医、訪問看護や訪問リハビリに必要なスキルを学ぶ機会が十分にあり、じっくりと患者さんの経過や社会的背景を得る能力や、プライマリーケアを行う能力を培うには絶好の場であると思います。ぜひ、医療従事者には一度はささやま医療センターでの勤務経験を積んでいただきたいと思っています。

地域に貢献し、地域に信頼される兵庫医科大学ささやま医療センターを目指すには、安定した経営基盤が必須です。教職員一同、従来に増して努力いたしますので、学校法人兵庫医科大学の構成員全員のご協力ご理解をよろしくお願い申し上げます。

新年のあいさつ

安心・安全な教育環境の構築

兵庫医科大学 学長 | 中西 憲司



明けましておめでとうございます。平成27年度が皆様にとりまして素晴らしい年になりますことを祈念いたします。

阪神淡路大震災から20年という節目の年。安心・安全な教育環境を構築する年にしたいと思います。ソフト面では大学の減災能力の向上です。これまでも、災害担当の波田副理事長を中心に、防災訓練活動を実施してきました。去年は学生がヘルメット着用

で訓練に参加しました。そのため、学生人数分の災害対策セット(ヘルメット、軍手、N95マスク、アルミブランケット)を用意しました。食べ物や飲み物も確保される予定です。また定期的に専門家による講演会も開催してきました。これらの準備は、減災能力の向上に役立つものと確信しています。

ハード面では、全ての建物の耐震化です。幾つかの建物では、耐震補強工事が完了しています。しかし、築40年を超えた建物を耐震補強しても、その効果には限界があります。最善の方法は、震災の爪痕を残す老朽化した建物を取り壊し、それらを集約して「新教育研究棟」を建設することです。私は責任者としてその建設計画を進めてまいりました。幸い、多くの皆様のご協力を得て、計画は順調に進んできました。建設は平成28年度末に完成し、29年4月から新教育研究棟は本格使用となります。高さ59.9m、地上12階、延床面積8万1千941平方メートル、耐震構造、5mの津波にも耐える巨大な学び舎です。学生が必要とする全ての施設(講義室、実習室、自習室、食堂、ラーニングスクエア、図書館、etc)が完備されます。私達の願いは「安心・安全な教育環境の構築」です。大震災を経験した私達だからこそやり遂げねばなりません。経費は巨額です。これから50年間、本学発展に欠かせない建物の建設です。どうかご支援とご協力の程、お願い申し上げます。

輸血・細胞治療学開講 セルプロセッシングセンター開設記念講演会 開催



平成26年11月29日、3号館4階3-3講義室において、輸血・細胞治療学の開講と、セルプロセッシングセンターの開設を記念した講演会が開催されました。

「世界初、日本発の夢の細胞治療」をテーマに、再生医療の最先端の研究者の先生方をゲストにお招きし、兵庫医科大学との共同研究の取り組みや、現在進められている研究についてご講演いただきました。

講演Ⅰ 座長：脳神経外科学 主任教授 吉村 紳一
「骨髄細胞を用いた脳梗塞治療」
先端医療センター 研究所
脳神経機能再生研究グループ 部長 田口 明彦

講演Ⅱ 座長：内科学血液内科 主任教授 小川 啓恭
「羊膜由来間葉系幹細胞製剤の開発」
国立循環器病研究センター 再生医療部 室長 山原 研一

特別講演 座長：輸血・細胞治療センター長
(主任教授) 藤盛 好啓
「自己骨格筋芽細胞を用いた心不全治療」
大阪大学 心臓血管外科 主任教授 澤 芳樹

講演Ⅲ 座長：内科学血液内科 臨床准教授 相馬 俊裕
「骨髄由来間葉系幹細胞を用いた肝硬変治療」
山口大学 消化器病態内科 准教授 寺井 崇二

主任教授就任挨拶〈12月1日就任〉



内科学総合診療科
新村 健

この度、総合診療科学講座の主任教授に就任致しました、新村健と申します。私はこれまで慶應義塾大学医学部において高齢者を中心とした総合診療と老年医学教育に、研究面では健康長寿達成に向けての基礎老化研究に携わって参りました。超高齢社会を迎え、

包括的・全人的医療を実践できる総合診療医の育成は急務ですが、本邦における総合診療学はまだ創生期にあたる段階です。本学では、救急から慢性期、在宅医療まで切れ目なく、「かかりつけ医」として活躍できる総合診療医の育成を目指していきたいと考えています。少ないスタッフとの船出となりましたが、学内外の皆様方のご要望に沿えるよう一歩ずつ万全の態勢を整えて参ります。

今後、本学の総合診療科学講座を発展させ、関西圏、兵庫県の医療に少しでも貢献できますように、日々精進していく所存でございます。どうか当面は、温かく教室の立ち上げを見守って頂きます様、皆様をお願い申し上げます。

教授就任〈12月1日就任〉



救急・災害医学
中尾 篤典

略歴

平成4年	3月 岡山大学医学部卒業
	6月 岡山大学医学部付属病院第一外科 医員
	8月 姫路赤十字病院外科 研修医
平成6年	8月 庄原赤十字病院外科 医員
平成9年	11月 岡山大学医学部付属病院消化器腫瘍外科
平成12年	1月 ビッツバーグ大学 外科学講座 客員研究員
平成15年	7月 ビッツバーグ大学 外科学講座 助教
平成19年	7月 ビッツバーグ大学 外科学講座 講師
平成22年	7月 ビッツバーグ大学 外科学講座 准教授
平成24年	7月 兵庫医科大学 救急・災害医学講座 講師
	9月 延生大学客員教授
	12月 兵庫医科大学 救急・災害医学講座 准教授A
平成26年	6月 兵庫医科大学 救急・災害医学講座 准教授

平成26年度 兵庫医科大学 篤志解剖体慰霊祭

平成26年10月21日、平成記念会館において、平成26年度兵庫医科大学篤志解剖体慰霊祭が執り行われました。医学教育・研究及び医療の進歩と発展のために、自らのご遺体を捧げられた方々を祭祀するため、本学では毎年10月第3火曜日に無宗旨形式で執り行っております。

平成25年10月1日から平成26年9月30日の期間に、その身を解剖のために捧げられた、系統解剖ご霊位64柱、病理解剖ご霊位24柱のあわせて88柱を祭祀させていただきました。

式はご霊位の奉読に始まり、全員黙祷に続いて中西学長、難波病院長、解剖担当教室を代表して関主任教授による慰霊の詞、西宮市長から弔辞の詞をいただきました。続いて、学生代表の第2学年次 丸田哲也さんより謝意の詞が述べられ、解剖担当教室の中教授からはご遺族の方への謝意が述べられました。その後、故人のご冥福をお祈りして参列者全員による献花が行われ、本学教職員並びに学生は、ご霊位に対し医学・医療の向上に寄与することを誓いました。

ここに、あらためて全ての御霊のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様の深いご理解に対し、心から御礼申し上げます。



中西学長による慰霊の詞



第43回 医聖祭

11月15日・16日 兵庫医科大学

平成26年11月15日・16日、第43回大学祭「医聖祭」を開催しました。

新教育研究棟（仮称）の建設工事が始まるため、これまで続けてきた中庭での大学祭は今年度で最後となります。最後の年にふさわしく秋らしい晴天に恵まれ、たくさんの方々に模擬店やステージイベント、医学講演会などを楽しんでいただき、盛会の内に終了しました。

スローガン 繋～LINK～

新校舎の建設のために、中庭で行われる大学祭が今年度で一区切りとなり、この伝統的な行事を今後も続けていけることを願い、そして次のステージへ繋がるようにとの願いを込めました。

医学講演会 11月16日 平成記念会館

北京オリンピック銅メダリスト 朝原 宣治さん

『夢をかなえるためのセルフマネジメント』



オリンピック4大会連続出場、北京オリンピックで日本男子トラック種目では史上初となる銅メダルを獲得された朝原宣治さんをお招きし、医学講演会を開催しました。

講演会では、健康スポーツ科学の元講師である辻田先生が司会を担当され、朝原さんのオリンピックにかけた思いやエピソードについてお話いただきました。観客からの質問にもお答えいただき、オリンピック選手ならではの興味深いお話を伺うことができました。



解剖展示・医療器具展示

医科大学ならではの、様々な医療器具や人体模型などが展示され、学生が来場者の方々に分かり易く器具の使い方などを説明しました。



軽音ライブ

4号館1階の4-1講義室にて、軽音楽部がライブ演奏が行いました。



ワンダーフォーゲル部 写真展示

富山県立山にある金沢大学雷鳥沢診療所と剣沢診療所での、見学や手伝いを通じて体験・学習した山岳医療について、パネルにて紹介を行いました。



美術部・写真部 作品展示

平成記念会館のエントランスにて展示が行われ、部員たちの作品と共に新家理事長や大学の先生方の絵画・写真も飾られました。



模擬店

各クラブから、カレーやワッフル、たこ焼きなど様々な模擬店を出店し、来場した方々にお楽しみいただきました。また、15日には孔子学院が初めて模擬店を出店し、中国茶4種類の試飲と漢方成分を含む中国菓子の試食の提供を行いました。



●ステージイベント

中庭のメインステージでは、2日間にわたって様々なイベントを開催し、観客の皆さんと共に盛り上がりました。芸人お笑いライブでは、NON STYLE、プリマ旦那、スーパーマラドーナの3組にお越しいただき、ステージを盛り上げていただきました。

11/15

- ・武庫川オリンピック
- ・芸人お笑いライブ
- ・ビンゴ大会



11/16

- ・Mr. Ms. 兵医
- ・マジックショー
- ・カラオケ大会
- ・ダンスステージ



平成 2 7 年度 兵庫医科大学 医学部入学試験 速報

推薦入学試験

一般公募制推薦入学試験 ※1

試験期日：平成 2 6 年 1 1 月 9 日(日)

試験科目：基礎学力検査、小論文、面接、調査書

合格発表：平成 2 6 年 1 1 月 1 5 日(土)

募集人員	約 1 5 名
志 願 者	8 8 名
受 験 者	8 8 名
合 格 者	1 6 名(※2)
実質競争倍率(※3)	5. 5 倍 (8. 0 倍 地域公募併願者を含む)

※1 特別指定校からの 1 名を含む

※2 一般公募制合格者のうち、地域指定制併願者 1 名を含む

※3 実質競争倍率は「受験者／合格者」

一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験がこれから始まります！

一般入学試験

募集人員	約 7 4 名	
試験科目	第 1 次試験	数学(1 5 0 点)、外国語(1 5 0 点) 理科(物理、化学、生物から 2 科目選択)(2 0 0 点) 小論文(1 次判定では使用せず、2 次試験合格者選抜のときに使用)
	第 2 次試験	個人面接
合格者発表	第 1 次試験	平成 2 7 年 1 月 2 9 日(木)
	第 2 次試験	平成 2 7 年 2 月 6 日(金)

大学入試センター試験利用入学試験(前期)

募集人員	約 1 5 名	
出願期間	平成 2 6 年 1 2 月 8 日(月)～平成 2 7 年 1 月 1 6 日(金) 消印有効	
試験科目等	第 1 次試験	国語(近代以降の文章のみ)、数学(数学Ⅰ・数学 A、数学Ⅱ・数学 B)、理科(物理、化学、生物から 2 科目選択)、英語(リスニング含む)
	第 2 次試験	個人面接
試験期日	第 1 次試験	大学入試センター試験日
	第 2 次試験	平成 2 7 年 2 月 1 6 日(月)
試験会場	第 1 次試験	大学入試センターが指定する試験会場
	第 2 次試験	兵庫医科大学
合格者発表	第 1 次試験	平成 2 7 年 2 月 1 2 日(木)
	第 2 次試験	平成 2 7 年 2 月 2 0 日(金)

平成 2 7 年度 兵庫医科大学 大学院入学試験 速報

前期入学試験結果

医学研究科入学試験(前期募集)

試験期日：平成 2 6 年 9 月 1 2 日(金)

試験会場：兵庫医科大学

選考方法：外国語試験、面接

合格発表：平成 2 6 年 1 0 月 3 日(金)

受験者	7 名
合格者	7 名

後期入学試験

医学研究科入学試験(後期募集)

出願期間	平成 27 年 1 月 1 9 日(月)～1 月 3 1 日(土)
試験期日	平成 27 年 2 月 1 3 日(金)
試験会場	兵庫医科大学
選考方法	①外国語試験 ②面接(担当教授との面接が終了している場合には免除することがある)
合格発表	平成 27 年 3 月 1 3 日(金)

地域指定制推薦入学試験

試験期日：平成 2 6 年 1 1 月 9 日(日)

試験科目：基礎学力検査、小論文、面接、調査書

合格発表：平成 2 6 年 1 1 月 1 5 日(土)

募集人員	5 名以内
志 願 者	4 5 名
受 験 者	4 5 名
合 格 者	5 名
実質競争倍率(※4)	9. 0 倍

※4 実質競争倍率は「受験者／合格者」

出願期間	平成 2 6 年 1 2 月 8 日(月)～平成 2 7 年 1 月 1 3 日(火)消印有効	
試験期日	第 1 次試験	平成 2 7 年 1 月 2 1 日(水)
	第 2 次試験	平成 2 7 年 1 月 3 1 日(土)または 2 月 1 日(日) (希望日を出願時に選択)
試験会場	第 1 次試験	大阪会場：インテックス大阪 東京会場：五反田 TOC ビル 福岡会場：福岡国際会議場
	第 2 次試験	兵庫医科大学

大学入試センター試験利用入学試験(後期)

募集人員	約 3 名	
出願期間	平成 2 7 年 2 月 2 日(月)～平成 2 7 年 3 月 2 日(月)消印有効	
試験科目等	第 1 次試験	国語、数学(数学Ⅰ・数学 A、数学Ⅱ・数学 B)、地理歴史・公民(地理歴史「世界史 B」、「日本史 B」、「地理 B」および公民「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から 1 科目選択)理科(物理、化学、生物から 2 科目選択)、英語(リスニング含む)
	第 2 次試験	個人面接
試験期日	第 1 次試験	大学入試センター試験日
	第 2 次試験	平成 2 7 年 3 月 1 6 日(月)
試験会場	第 1 次試験	大学入試センターが指定する試験会場
	第 2 次試験	兵庫医科大学
合格者発表	第 1 次試験	平成 2 7 年 3 月 9 日(月)
	第 2 次試験	平成 2 7 年 3 月 1 9 日(木)

過程を経ない学位申請者に対する外国語試験(第 6 5 回)

試験期日：平成 2 6 年 9 月 1 2 日(金)

試験会場：兵庫医科大学

選考方法：外国語試験

合格発表：平成 2 6 年 1 0 月 3 日(金)

受験者	5 名
合格者	3 名

過程を経ない学位申請者に対する外国語試験(第 6 6 回)

出願期間	平成 2 7 年 1 月 1 9 日(月)～1 月 3 1 日(土)
試験期日	平成 2 7 年 2 月 1 3 日(金)
試験会場	兵庫医科大学
選考方法	外国語試験
合格発表	平成 2 7 年 3 月 1 3 日(金)

※詳しくは平成 2 7 年度学生募集要項をご確認ください。

平成 2 6 年度公的資金一覧

(単位：千円)

区 分	研究課題(プロジェクト)名	所属部署	職名	研究代表者等	事業費	交付(配分)予定額	備 考
二国間交流事業	第 12 回脳科学、心臓・平滑筋科学 日韓合同シンポジウム	生理学 生体情報部門	主任教授	西崎 知之	1,200	1,200	平成 26 年度 日本学術振興会
計					1,200	1,200	

財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

(単位：千円)

助成団体名	研究課題名	研究者	交付額
(公財)ロッテ財団	咀嚼する食品の味・香りによる情動変化がヒトの生理学的変化に与える影響	長谷川 陽子	3,000
(公財)鈴木謙三記念医科学応用研究財団	炎症性腸疾患の感受性遺伝子 LRRK2 による autophagy の制御機構の解明	高川 哲也	1,000

平成 2 6 年度厚生労働科学研究委託費交付内定一覧

(単位：千円)

研究事業名	所 属	研究代表者	研究課題名	交付内定額	
				直接経費	間接経費
循環器疾患・糖尿病等 生活習慣病対策実用化	脳神経外科学	吉村 紳一	循環器疾患の新たな治療法の開発に関する研究	5,000	1,500
計(1 件)				5,000	1,500
				6,500	

学位授与

学位記(甲)

報告番号	氏 名	専攻系	博 士 論 文 名	授与年月日
甲第 665 号	おおくわ ひさや 大乗 久弥	医科学専攻 生体応答制御系 臨床腫瘍薬剤制御学	Sphingosine Suppresses Mesothelioma Cell Proliferation by Inhibiting PKC- δ and Inducing Cell Cycle Arrest at the G0/G1 Phase (スフィンゴ シンの PKC- δ 阻害と G0/G1 細胞周期停止による中皮腫細胞増殖抑制作用)	H26.9.30
甲第 666 号	かいべ のぶあき 海邊 展明	医科学専攻 器官・代謝制御系 上部消化管外科学	Overexpression of EphrinA2 receptor in cancer stromal cell is a prognostic factor for the relapse of gastric cancer (がん間質細胞におけるエフリン A2 受容体の過剰発現は再発胃がんの予後因子となる)	H26.10.2
甲第 667 号	さかい よしゆき 坂井 良行	医科学専攻 器官・代謝制御系 肝胆膵内科学	Two randomized controlled studies comparing the nutritional benefits of branched-chain amino acid (BCAA) granules and a BCAA-enriched nutrient mixture for patients with esophageal varices after endoscopic treatment (食道静脈瘤治療患者に対する BCAA 顆粒製剤と BCAA 高含有経腸栄養剤の栄養学的効果を比較した 2 つの無作為試験)	H26.11.6
甲第 668 号	あいざわ のぶひろ 會澤 信弘	医科学専攻 器官・代謝制御系 肝胆膵内科学	Thrombocytopenia in pegylated interferon and ribavirin combination therapy for chronic hepatitis C (C 型慢性肝炎に対する PEG-IFN/RBV 併用療法における血小板数の治療効果への影響)	H26.11.6
甲第 669 号	かわい みきお 河合 幹夫	医科学専攻 器官・代謝制御系 炎症性腸疾患学	Looking for predictive factors of clinical response to adsorptive granulocyte and monocyte apheresis in patients with ulcerative colitis: markers of response to GMA (潰瘍性大腸炎患者に対する顆粒球・単球吸着療法(GMA)の効果予測因子の検討)	H26.11.6

学位記(乙)

報告番号	氏 名	博 士 論 文 名	授与年月日
乙第 369 号	まつもと ともひろ 松本 友寛	HER2 expression in locally advanced gastric cancer with extensive lymph node (bulky N2 or paraaortic) metastasis (JCOG1005-A trial) (高度リンパ節転移(Bulky N2 or #16a2/b1) を伴う進行胃癌における HER2 発現陽性割合の検討(JCOG1005-A 試験))	H26.10.2
乙第 370 号	いけだ なおと 池田 直人	Nationwide survey in Japan regarding splenectomy/partial splenic embolization for interferon treatment targeting hepatitis C virus-related chronic liver disease in patients with low platelet count (血小板数低値の C 型慢性肝疾患に対するインターフェロン治療を目的とした 脾摘・PSE に関する日本での実態調査)	H26.11.6

研究 REPORT レポート



こんな人 メモ

男4人兄弟の次男として西宮市に生まれる。幼少の頃は、兄が小学校に通い始めたら一緒に行きたがったり、九九や英語と一緒に勉強したりと、何でも兄の真似をしたがる子供だった。物理が好きだったことや、兄が工学部に進んだ影響もあり、県立神戸高校から京都大学理学部へ入学。しかし、時代は学園紛争の真只中で、勉学もままならず、大人たちの不甲斐なさをみせつけられ、「法律や経済は政治によって変えられてしまう。それであれば、自分の信念や努力が無駄にならない仕事をしたい」と強く思い、一転医者をめざし東京大学理科III類へ入学した。東京大学卒業後は、1984年にパリ大学へ留学。1987年5月より国立がんセンターに勤務し、外科部長や副院長などを歴任。副院長として管理業務に忙殺される毎日に臨床現場への思いが募り、2007年に郷里である西宮に戻り、08年より現職で活躍している。

勤務の中でリラックスできる時間は、料理上手な奥さんの手料理を食べながらワインを嗜む時間。家にはワインクーラーが4つあり、友人を招いて一緒に楽しむことも。食べることが好きで、気兼ねなく食べられるようにと週2回のジム通いも続けている。長時間の執刀に耐えられる体力作りも重要だ。高校時代にコーラス部だったこともあり、クラシック鑑賞も趣味のひとつ。

理論と職人技の融合 －胃がん手術の世界標準を確立－

外科学
上部消化管外科
主任教授 笹子 三津留

標準治療の確立

「標準治療」とは、多くの臨床試験の結果をもとに、専門家が集まって検討を行い、科学的に最も効果があると合意の得られている治療法だ。JCOG（日本臨床腫瘍研究グループ）胃がんグループを率いて臨床試験の方法論を確立し、数々の臨床試験を実施してきた笹子主任教授の試験結果は、日本のみならず「世界の標準治療」として認められたものもあり、2011年に佐川がん研究振興財団より佐川特別賞、2014年には高松宮妃癌研究基金特別賞が贈られるなど、その功績は高く評価されている。

1990年頃まで、消化器がんに関する手術や治療方法は、科学的に研究されていなかった。拡大手術が流行りのように行われており、「広範囲に切る必要があるのか？不要な切除で患者さんに余計な苦しみを与えているのではないか？」と疑問を感じていた。

「手術をやる以上、本当にメリットがあることを科学的に示さなければならない」

1989年にオランダのライデン大学に招聘され、そこで当時の西欧と日本の標準手術について比較試験を実施した経験から、「胃がんの発生頻度の高い日本でこそより良い研究が可能」と考えた笹子主任教授。帰国後、臨床試験の方法論もない中で多施設を統率し、研究に取り組んだ。手術の比較を行う場合、その結果は患者や術者、病気などの要因により左右され

る。そこで、これらの要因での偏りがでないよう、術者の技術レベルを揃えるなど前提条件を設定し、手術の内容を決めるのに1年以上をかけた。さらに、実際にその通りに試験が行われているか、治療の質を担保する指標についても徹底的に議論し、方法論を確立していった。

「良くない術式は、数十年後には自然と廃れていくかもしれないが、その間、何万人という患者さんが意味のない治療を受け苦しむことになる。臨床試験もある程度時間はかかるけれど、不幸な目に合う患者さんを最小限に抑えられる最も良い方法なんです」



理論と職人技の両立

臨床研究で確立したガイドラインは、場面場面でどのような服を着るかを決めたようなもの。決められた服を個々の患者にピッタリ合うようにオーダーメイドすることが実際の手術だ。ガイドラインを知っているだけでは外科医としては成り立たない。理論と手技の両立が求められる、まさに「職人」の世界だ。

手術の経験を重ねると、胃・血管・神経・脂などの関係性や、性質が手に取るように分かるようになる。さらにそれを極めると、様々な手術が可能になるという。年間150例、通算3,000例以上の胃がん手術を手がけてきた笹子主任教授の腕は「神の手」とも呼ばれ、他の病院では手術が不可能と言われた患者さんが紹介で来院することも多い。

「現在は6割が早期がんで、難しい進行がんは減ってきています。易しい手術はある程度均てん化されたので、難しい症例は集約化が必要だと考えています。難しい手術ができなくなっている病院や医師が増えている中、それに対応できる医師を育てたいですね。また、手技だけでなく、結論ができれば臨床が変わる臨床研究の面白さと意義、そして大切さも理解して欲しいと思います」

自らの技術を伝承するため、後進の育成にも力を入れる。手術を見せて、やらせて、都度注意を繰り返しながら手を取って教育する。現役でメスを握りながら、これまでの経験を次世代に繋げていくその眼には、強い意志がみなぎっていた。



新年のあいさつ

医療大ー新たな10年に向かって

兵庫医療大学 学長 | 馬場 明道

皆様、明けましておめでとうございます。

本年は、私が医療大の学長に就任して3年目にあたります。「医療総合大学としての基盤を確固たるものにすること」を重要課題に掲げ、①社会的認知度を上げ、多くの優秀な学生を受け入れる②入学した学生に質の高い教育を提供する③教育成果としての国家資格取得から、キャリア形成の全面的支援を行う、という

3つの戦略的課題に対し、多くの施策・取り組みを実施してきました。

いろいろな施策・取り組みの妥当性の評価はその成果の検証を待たねばなりません。教育での取り組みの成果を具体的に実感できるには、ある程度のラグタイムが避けられません。従って、そこに至るまでの過程では、我々は、正しく目指すところに向かって着実に進んでいるとの認識を、全構成員が共有しながら業務を遂行することが肝要だと思います。

大学において、学生を大切に育てていくことが、一義的に重要であることは言うまでもありません。しかしながら、併せて、その教学活動を通じて、教職員も、自らが成長し、各々の人生目標を達成していくことも極めて重要な視点です。

医療大は、来年に開学10周年を迎えます。新たな10年を見据えて、より大きな発展を目指す教学ビジョン(HUHS Vision 10)の策定を全学で行っていきます。

本年も、兵庫医療大学をご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

教授就任挨拶〈12月1日就任〉



薬学部
だい つよし
戴 毅

このたび、薬学部教授(東洋医薬部門)を拝命いたしました。私は平成8年に兵庫医科大学大学院に入学して以来、同大医学部助手、講師を経て、平成20年から兵庫医療大学薬学部准教授として勤務してきました。研究面では「疼痛分子機構の解明」と「天然

薬物由来鎮痛薬の開発」をテーマに取り組み、教育面では本法人両大学の東洋医薬学教育に携わってきました。

超高齢社会に直面した日本のみならず欧米諸国においても、伝統医療は国民の健康維持に不可欠な医療として定着し、「全人的医療」「統合医療」など「未来医療モデル」に必須な要素となっています。「東洋医薬部門」はこうした社会的医療情勢を背景に新たに設置された部門です。これまでに取り組んできた教育・研究をさらに発展させ、「漢方薬のわかる薬剤師の育成」「漢方医療の推進」ならびに「漢方医薬による地域貢献」に尽力する所存ですので、ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

保護者懇談会を開催しました

平成26年10月4日、兵庫医療大学において、在学生の保護者を対象とした第8回保護者懇談会が開催されました。約450名が出席され、大学の現況や教育、学生生活、就職、同窓会、防災対策の説明、報告がありました。

その後、学部毎に懇談会及び希望者による個別面談が実施された後、懇親会へ参加いただき、学長はじめ各学部の教員と交流が行われ、貴重なご意見などをいただきました。





第7回 海泉祭

10月12日 兵庫医療大学

2014年10月12日、「第7回海泉祭」が開催されました。今年は台風の影響で、当初予定していた2日間の開催が1日だけとなった海泉祭でしたが、開催できた当日は晴天に恵まれ、様々な催しを実施することができました。

夢奏 ～夢を奏でよう～

今年のテーマは「兵庫医療大学で目標を持ち、学び、それぞれの夢を叶える基礎作りをしていく」という思いを込めました。兵庫医療大学の学生、教職員、近隣住民の皆さんが夢を持てるような大学祭にしたいという思いが込められています。

『課外活動奨励賞』

今年度目覚ましい活躍を見せた課外活動団体の表彰が、海泉祭開会式に先立って行われました。



アーチェリー部、バスケットボール部、野球部が表彰されました!

『開会式』

馬場学長からの開会挨拶の後、大学行事実行委員長による開会宣言が行われました。



『模擬店・展示』

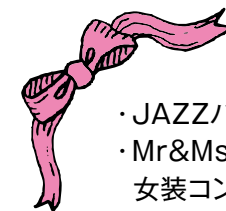
P棟・G棟間のキャンパスモールには、クラブ・サークルや有志団体の模擬店21店舗と、M棟校舎内には、4展示が出店しました。模擬店には毎年恒例の焼きそばやチョコバナナが、展示ブースには写真サークルの作品などが並び、海泉祭を盛り上げていました。



アイスフロートを作りました!

『メインステージ』

芝生広場の特設ステージでは、大学行事実行委員会による学内コンテストやライブイベントが行われ、観客からは大きな歓声が上がっていました。学内コンテストの投票は全て10円玉で行い、集まったお金は「平成26年広島県大雨災害義援金」に寄付させていただきました。



- ・JAZZバンド部
- ・Mr&Ms コンテスト、女装コンテスト
- ・室内楽団サークル
- ・歌うまコンテスト
- ・吉本お笑いライブ (モンスターエンジン・クロスバー直撃)
- ・ダンス部
- ・軽音楽部
- ・ピンゴ大会
- ・閉会式



みんなで団結して踊りました!



Mr&Ms コンテスト!



屋外で演奏!



『学部別イベント』

3学部4学科による、学部の体験ブースが催されました。それぞれの学びの特徴を伝える機会とあって、子どもからお年寄りの方まで、様々な方に体験を行っていただきました。

薬学部

- ◎漢方茶・中国茶の試飲／中国のお菓子の試食
 - ◎くずりのかたちを楽しもう
- レストランにて漢方茶が振舞われました。来場者は独特の風味を楽しみ、効能の説明に熱心に耳を傾けていました。



看護学部

- ◎アロマを用いたマッサージ
- セラピストに扮した看護学部生が来場者と談笑しながら、リラックスした雰囲気の中でハンドマッサージが行われていました。



理学療法学科

- ◎測定・物療コーナー
 - ◎理学療法の体験コーナー
- 学生スタッフのサポートのもと、筋力測定や車いす体験が行われました。また、理学療法士として行う物理療法などにも、来場者がチャレンジしました。



作業療法学科

- ◎革細工・プラバン
- 作業療法のリハビリで用いられる、革細工やプラバン製作の体験が行われ、参加者によってそれぞれ個性的な作品が作られていました。



似顔絵コーナー

レストランにて、毎年恒例の「新理事長が描く似顔絵コーナー」が行われました。



大学行事実行委員会の人々、準備お疲れ様でした!



■ ホームカミングデイ・同窓会役員会・同窓会懇親会を開催

10月12日の海祭において、第4回目となるホームカミングデイ、同窓会役員会、同窓会懇親会が開催されました。

ホームカミングデイ

兵庫医療大学レストラン2階で開催したホームカミングデイは、教職員・卒業生合わせて約80名が参加し、学生時代の思い出など懐かしい話や職場での悩みなど、同じ医療職として働く仲間だからこそ分りあえる話に花を咲かせていました。



同窓会 役員会

午後よりキャリアデザインセンターにて行われた同窓会 役員会では、次年度事業、予算案などが議論されました。また会の初めには、兵庫医療大学同窓会 名誉会長の新家理事長も参加し、今後の同窓会発展に向けて激励する場面もありました。



同窓会 懇親会

夜にはクオリティホテル神戸に場所を移して、懇親会が行われました。同窓会が設立して初めての懇親会ということもあり、馬場学長を始め、同窓会世話人の藤田副学長や名誉学長の松田先生など多くの教員が参加し、念願の同窓会発足を祝うことができました。

同窓会として、組織を継続的に運営していくことは大変なことです。が、本学発展のために卒業生からの貴重な意見を期待しつつ、大学としても可能な限りの支援をしていきます。



■ 第4回 神戸マラソンを応援

平成26年11月23日、第4回神戸マラソンが開催されました。当日は天候にも恵まれ、多くのランナーが神戸の街を走り抜けました。本学においても、本学北側道路がコースになっていることから、沿道にのぼりやメッセージを掲げてランナーの皆さんを応援しました。

例年、本学の学生もボランティア活動に参加しており、今年は医療補助などを行う救護スタッフに31名、コースや沿道の整理を行うスタッフに16名、手荷物受け渡しスタッフに32名、神戸マラソン前に行われたミニマラソンでのボランティアスタッフに4名と多くの学生が活動し、今年もランナーを側面からサポートしました。

また、ゴール付近では本学JAZZバンド部も演奏を行い、大会を盛り上げていました。



■ 平成27年度 兵庫医療大学 入学試験 速報

推薦入学試験結果

専願公募制

試験期日：平成26年11月1日(土)
合格者発表：平成26年11月11日(火)

学部学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部 医療薬学科	20名	52名	51名	20名	2.6倍
看護学部 看護学科	25名	184名	184名	26名	7.1倍
リハビリテーション学部 理学療法学科	10名	122名	122名	12名	10.2倍
リハビリテーション学部 作業療法学科	13名	48名	48名	13名	3.7倍

※実質競争倍率は「受験者／合格者」

※実質競争倍率は「受験者／合格者」

一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験 一般入学試験

前期A日程	
募集人員	薬学部 医療薬学科 35名 リハビリテーション学部 理学療法学科 20名 リハビリテーション学部 作業療法学科 17名
試験科目	薬学部 外国語(100点)、数学(100点)、化学(100点) リハビリテーション学部 外国語(100点)、数学(100点)、 理学療法学科 化学・生物・物理から2科目選択(100点) リハビリテーション学部 外国語(100点)、国語(100点)、 作業療法学科 化学・生物・物理から2科目選択(100点)
出願期間	平成27年1月8日(木) ～ 平成27年1月21日(水) 消印有効
試験期日	平成27年1月29日(木)
試験会場	兵庫医療大学
合格者発表	平成27年2月6日(金)

前期B日程	
募集人員	薬学部 医療薬学科 25名 リハビリテーション学部 理学療法学科 8名 リハビリテーション学部 作業療法学科 8名
試験科目	薬学部 外国語(100点)、化学(200点) リハビリテーション学部 外国語(100点)、数学(100点) 理学療法学科 リハビリテーション学部 外国語(100点)、数学(100点) 作業療法学科
出願期間	平成27年1月8日(木) ～ 平成27年1月21日(水) 消印有効
試験期日	平成27年1月30日(金)
試験会場	兵庫医療大学、大阪会場(河合塾天王寺校)、岡山会場(岡山国際交流センター)
合格者発表	平成27年2月6日(金)

大学入試センター試験利用入学試験

前期日程	
募集人員	薬学部 医療薬学科 7名 看護学部 看護学科 5名 リハビリテーション学部 理学療法学科 2名 リハビリテーション学部 作業療法学科 2名
試験科目	薬学部 外国語(100点)、化学(100点) 生物・物理から1科目選択(100点) 看護学部 外国語(100点)、国語(100点)、 化学・生物から1科目選択(100点) リハビリテーション学部 外国語(100点)、国語(100点)、 理学療法学科 「理科基礎(化学・生物・物理から2科目選択)」、 「化学」、「生物」、「物理」から1科目選択(100点) 数学①(数学I・数学II Aから1科目選択)と 数学②(数学II・数学II Bから1科目選択)の合計(100点) リハビリテーション学部 外国語(100点)、国語(100点)、 作業療法学科 数学①(数学I・数学II Aから1科目選択)(100点) 「理科基礎(化学・生物・物理から2科目選択)」、 「化学」、「生物」、「物理」から1科目選択(100点)
出願期間	平成27年1月8日(木) ～ 平成27年1月28日(水) 消印有効
合格者発表	平成27年2月6日(金)

公募制A日程		試験期日：平成26年11月2日(日) 合格者発表：平成26年11月11日(火)			
学部学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部 医療薬学科	15名	221名	220名	58名	3.8倍
看護学部 看護学科	10名	319名	318名	37名	8.6倍

公募制B日程

試験期日：平成26年11月29日(土)
合格者発表：平成26年12月5日(金)

学部学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
薬学部 医療薬学科	10名	100名	100名	22名	4.5倍

前期C日程	
募集人員	看護学部 看護学科 50名
試験科目	外国語(100点)、国語(100点)、 化学・生物から1科目選択(100点)
出願期間	平成27年1月8日(木) ～ 平成27年1月21日(水) 消印有効
試験期日	平成27年1月30日(金)
試験会場	兵庫医療大学、大阪会場(河合塾天王寺校)、岡山会場(岡山国際交流センター)
合格者発表	平成27年2月6日(金)

前期C日程	
募集人員	薬学部 医療薬学科 15名
試験科目	化学(100点)、外国語・数学から1教科選択(100点) (2教科を受験した場合は高得点の1教科を合否判定に使用)
出願期間	平成27年2月2日(月) ～ 平成27年2月9日(月) 消印有効
試験期日	平成27年2月15日(日)
試験会場	兵庫医療大学
合格者発表	平成27年2月20日(金)

後期日程	
募集人員	薬学部 医療薬学科 10名 看護学部 看護学科 7名
試験科目	薬学部 外国語(100点)、化学(200点) 看護学部 外国語(100点)、国語(100点)、 化学・生物から1科目選択(100点)
出願期間	平成27年2月16日(月) ～ 平成27年2月23日(月) 消印有効
試験期日	平成27年2月28日(土)
試験会場	兵庫医療大学
合格者発表	平成27年3月6日(金)

後期日程	
募集人員	薬学部 医療薬学科 3名 看護学部 看護学科 3名
試験科目	薬学部 化学(100点)、 生物・物理から1科目選択(100点) 看護学部 外国語(100点)、国語(100点)、 化学・生物から1科目選択(100点)
出願期間	平成27年3月12日(木) ～ 平成27年3月20日(金) 消印有効
合格者発表	平成27年3月25日(水)

※詳しくは平成27年度学生募集要項にてご確認ください。

平成27年度兵庫医療大学大学院 入学試験

薬学研究科入学試験

I期

試験期日：平成26年9月27日(土)
試験会場：兵庫医療大学
選考方法：外国語、専門科目、面接
合格者発表：平成26年10月8日(水)

受験者	2名
合格者	2名

II期

出願期間：平成27年1月6日(火)～平成27年1月13日(火)必着
試験期日：平成27年1月24日(土)
試験会場：兵庫医療大学
選考方法：外国語、専門科目、面接
合格者発表：平成26年2月4日(水)

看護学研究科入学試験

I期

試験期日：平成26年9月27日(土)
試験会場：兵庫医療大学
選考方法：外国語、専門科目、面接
合格者発表：平成26年10月8日(水)

受験者	8名
合格者	6名

II期

出願期間：平成27年1月6日(火)～平成27年1月13日(火)必着
試験期日：平成27年1月24日(土)
試験会場：兵庫医療大学
選考方法：外国語、専門科目、面接
合格者発表：平成27年2月4日(水)

医療科学研究科入学試験

試験期日：平成26年9月27日(土)
試験会場：兵庫医療大学
選考方法：外国語、専門科目、面接
合格者発表：平成26年10月8日(水)

受験者	9名
合格者	8名

入試対策講座&大学見学会を開催



平成26年11月16日、兵庫医療大学への進学を考えている高校生を対象に、入試対策講座を開催しました。受験生はもちろん、高校1・2年生も多く来場し、合わせて333名が参加しました。大手予備校より講師を招き、主な受験科目となっている〈英語〉〈生物〉〈化学〉の3科目について、本学の入試傾向や今後の試験対策に関する講義を行いました。

併せて大学見学会も開催し、在学生・教職員との交流コーナーや各種相談コーナー、キャンパスツアーを行いました。参加者からは「兵庫医療大学の出題傾向に合わせて学ぶことができたので、

とてもためになりました」「どうしても入学したいので、一般入試まで勉強を頑張ります」「学校では簡単に済まされる内容も、おもしろく教えていただき、これから勉強を頑張ろうと思いました」などの感想がありました。本学への進学を考える高校生にとって、受験勉強の参考になれば幸いです。



薬学部 東 純一 教授 兵庫医療大学葬



平成26年12月13日、薬学部 故 東 純一 教授の兵庫医療大学葬がオクタホールにてしめやかに執り行われ、馬場学長を葬儀委員長として、教職員・学生・卒業生をはじめ学内外から約360名が参列し、最後のお別れをしました。

大学葬は、祭壇の故人の御霊に参列者全員で黙祷を捧げたのち、薬学部教員が作成した故人の映像にて在りし日のお姿を偲びました。続いて、馬場学長より告別の辞が述べられ、西山薬学部長より功績が顕彰されました。

また、西原 力 名誉教授、兵庫医療大学薬学部を代表して伊藤助教より弔辞を拝受しました。

その後、弔電が披露され、葬儀委員長として馬場学長、ご遺族を代表して東 純哉 様よりご挨拶があり、多くの方が故人の死を惜しむ中、参列者による献花が行われました。

研究 REPORT



こんな人 メモ

尼崎市生まれ。子供のころは絵を描いたり物を作ったりするのが好きだった。また、旅行に行った気分で地図を眺めるのも好きで、徒歩で日本地図を作成した江戸時代の測量・探検家、伊能忠敬や間宮林蔵がいつしか尊敬する人に。50歳を越えて地図作りを始めた伊能忠敬の「何事も始めるのに遅いことはない」という意志に人間的魅力を感じている。

趣味は5年ほど前から始めたマラソン。体力の衰えを感じて始めたが、今では一仕事終えてからもう一仕事できるくらいに体力がついてきた。走った後おいしい食事とお酒を飲むのが好きで、旅行も兼ねて地方のマラソン大会に出ることも。また料理にも挑戦していて、飲み屋でおいしかったメニューを再現したり、アレンジを加えて奥さんに振舞っている。おいしい食事とお酒を囲み、ゆっくり過ごす時間が一番リラックスできる時間。B級映画を観て、友人と評論するのも好き。父親と2代に渡り根っからの阪神ファン。地元を離れた際には、阪神の試合を見ることで故郷を思いだし、寂しさを癒していたことも。座右の銘は「心に欲なきときは、義理を行う」

患者さんにも日本の医療制度にも効率的なモデル作りを目指して

共通教育センター 講師 西田 喜平次

数理モデルとデータの分析

世の中で起こっているさまざまな現象を数学的に表したものを「数理モデル」と呼ぶ。数理モデルは、例えば「前に歩いて進む」という現象を(距離)＝(歩幅)×(歩数)と表すことができるように、現象の特徴や本質を「単純化」「抽象化」し、数式に表わしたものだ。また、近年ではビッグデータ※の活用で、これまでは見えなかった傾向や共通点などが明らかとなり、人・社会・環境の状況を細かく把握することで、効率化やリスク予測などが進められている。これらを駆使することで、これまでは経験でしか予測できなかった「広告費と口コミ効果による映画のヒット予測」といったものも、データを元に推測が可能になったという。

このような取り組みは、医療の世界でも同様に行われている。データや数理モデルを用い、患者さんや日本の医療制度にとって有意となる構造を模索する。これまでは困難だったシミュレーションができるようになり、予測による最適な治療選択や社会システムを構築することで、患者さんにより良い医療が提供できることが期待さ



れている。

※インターネットの普及とIT技術の進化によって生まれた、大容量かつ多様なデジタルデータ

病院立地の効率性

兵庫医療大学で、数理モデルを用いた研究に取り掛かっている西田講師。筑波大学大学院 システム情報工学研究科 社会システム工学専攻を修了後、縁があって大阪大学大学院医学系研究科 医療経済・経営学寄付講座の特任研究員として着任。そこで現在のテーマである、「医療施設の空間的競争」に関する研究に取り掛かった。

この研究では、人口分布に応じて最も効率的な病院の立地を競争メカニズムで達成するための数理モデルを作成している。病院立地が非効率な状態は、患者側にも負担を強いることになり、かつ問題となっている日本の医療費増加にとっても好ましくない状況を生み出しかねない。

例えば、人口が密集しているところに同規模の診療所が隣接して建てられた場合、より多くの患者を獲得するため、過剰な診療が行われやすいという仮説がある。逆に、人口過疎地域にある病院では、通院コストがかさむため、一回の通院で多くの診療を受けようとするあまり、過剰診療が行われる傾向があるという。

仮説を実証するため、診療所の場所とそこで行われた医療サービスのデー



タから、実際にそのような状態が生み出されているのかを分析する。仮説が実証できれば、最も効率的な病院立地はどのようなものか、また、どのような条件下で効率的な病院立地は競争メカニズムで達成されるのか、数理モデルを用いてシミュレーションし、実際の社会に応用することを目指している。

「地域により診療報酬で格差をつけた場合や、病院の費用構造や報酬システムが変わった場合はどうなるかなど、自由競争を妨げないように適正な立地に病院を建てさせるにはどうすればよいかを模索しています」

医師や看護師のように直接患者さんを診療するわけではないが、「患者さんにより良い医療を提供する」という目的は同じだ。

「良い数理モデルを構築し、自分も満足して社会にも役立ち、後世に残るような研究ができれば一番嬉しいですね」

データの収集やモデル構築にもまだまだ課題も多く、研究も緒に就いたところだが、この新しい研究が医療職者とは別の側面で日本の医療の未来を支えてゆくだろう。